

人間らしく生きる

【5】 6) 銚子巡礼 広き海を望む

2017年8月13日(月)



【1】はじめに	1月1日(日)
【2】人	
1) 吉村靖夫(元東京高専教授)	1月22日(日)
2) 相田みつを(書家、詩人)	2月4日(土)
3) 横田南嶺(円覚寺管長)	3月12日(日)
4) 坂村真民(詩人)	4月16日(日)
5) 稲盛和夫(京セラ創業者)	5月31日(水)
6) 羽鳥兼市(ガリバー会長)	6月13日(火)
7) 小林希(旅作家)	7月15日(土)
8) 白駒妃登美(歴史家)	8月6日(日)
9) 鍵山秀三郎(イエローハット創業者)	9月30日(土)
10) 田中角栄(元内閣総理大臣)	10月
【3】心	
1) 大月瑞岳院 情報	1月20日(金)
2) 北鎌倉円覚寺 訪問	1月21日(土)
3) 高野山金剛峯寺 訪問	2月18日(土)
4) 平泉中尊寺 訪問	4月22日(土)
5) 大月瑞岳院 泊まり禅修行	6月30日(金)
6) 恵林寺と瑞岳院 座禅比較	8月19日(土)
7) 比叡山延暦寺 訪問	10月
【4】体	
1) 訓練状況Ⅰ	3月26日(日)
2) 訓練状況Ⅱ	8月27日(日)
3) 訓練状況Ⅲ	10月
4) 結果	12月
【5】頭	
1) レインボーブリッジ巡礼 海を渡れ	4月29日(土)
2) 多摩川巡礼 大河と流れる	5月4日(木)
3) ケニアナイロビ巡礼 人の原点	5月9日(火)
4) 上高地巡礼 清き信州	6月14日(水)

5) 韓国ソウル巡礼 熱き隣人	6月19日(月)
6) 銚子巡礼 広き海を望む	8月13日(日)
7) 軽井沢巡礼 避暑地の風に迎えられる	8月17日(木)
8) キューバハバナ巡礼 カリブ海の真珠	9月3日(日)
9) 湯河原巡礼 檜の音色に癒される	9月17日(日)
【6】総まとめ	12月

1. 頭 リマインド

お遍路さんの様に徒歩巡礼の旅を実施し、世の中を深く広く大きく捉える。

2. 今回の旅の目的

真夏に一番したい事 広き大きな海が見たい。よし、銚子へ行こう！
是非、一度訪れたかった街。

3. 銚子紹介(インターネットより)

銚子市は千葉県北東部にある市。全国屈指の市全域で※銚子ジオパークをなす。
日本一日の出の早い街。日本一の魚の水揚げ量を誇る街。

※ジオパークとは、「地球・大地(ジオ:Geo)」と「公園(パーク:Park)」とを組み合わせた言葉で、「大地の公園」を意味し、地球(ジオ)を学び、丸ごと楽しむことができる場所をいう。

【地名の由来】

元は「銚子口」と呼ばれていた。「銚子」は、小さな注ぎ口を持つ酒器で、もともとは生薬を煎じるのに使われた土瓶ややかんの類(徳利ではない)。入り口が狭く、中に入るとより広い空間が広がる地形がよく似ているため、この地名がついた。



利根川河口と銚子漁港の空中写真

4. 行動内容

1) 日時

5時57分:大月駅発(中央本線)

7時37分:東京駅発 特急しおさい1号(総武本線)

9時34分:銚子駅着

9時40分～15時20分:銚子巡礼徒歩の旅 11km

銚子駅→銚子大橋→ヤマサ醤油工場→圓福寺→銚子港→ポートタワー→
銚子ウォッセ21→海鹿島海岸→犬吠崎灯台→地球が丸く見える展望館→
犬吠駅→ (銚子電鉄) → 銚子駅

15時31分:銚子駅発 特急しおさい82号(総武本線)

19時34分:大月駅着 特急かいじ117号(中央本線)



5. 銚子巡礼

銚子駅に降りた瞬間、とても遠いところに来た気がした。すっかり旅の気分。

昔懐かしい地方の街。海、漁港、醤油工場、ローカル鉄道、そして旅愁。

全てが魅力的。



特急しおさい1号は時間通り銚子に着いた。内装もセンス良く2時間快適な時間であった。



銚子駅前。質素で綺麗。駅から海への道は幅36m、街の象徴として作られた。



利根川河口に掛る銚子大橋。全長1209m。対岸は茨城県。銚子は水戸ナンバーが多い。



ヤマサの醤油工場。大工場である。銚子は醤油の街。その他ヒゲタ、他で5工場ある。



銚子電鉄、全長6.4km、犬吠崎に向かう。市民の足、観光の目玉として活躍。



車庫の電車、運転席に人影が…。お化け！なんとお化け屋敷電車で神隠しの花嫁です。



圓福寺。赤い綺麗な本堂と大仏さんのマッチングが素晴らしい。



銚子港のドレスアップしたカミオン。運ちゃん達と15分間楽しい会話が弾んだ。



大きな漁船が停泊中。サーチライト、網などの装備が凄い。海の男を感じる。



銚子市漁協海水氷製氷工場。雰囲気が良いですねえ。とても涼し気。



銚子港で楽しそうに釣りをする親子。子どもが釣った魚を掴もうとしている。



銚子ポートタワー、全長57.7m。均整がとれていて美しい。高所恐怖症は上らない。



ウォッセ21は、銚子最大の観光スポット。見る！買う！食べるを、まるごと楽しめる。魅力的なお店や食堂が多い。小生もここで昼食をいただきます。



株ヤマニンベン。会社名が先か、会社マークが先か？ 何となく微笑ましい。



海鹿島海水浴場。天気曇でだれもない。天気が良ければ賑わうのかな。



海岸に白い波が打ち立てる。遥か向うに白い犬吠崎灯台が見えてきた。



小高い丘の階段を登るとそこには犬吠崎灯台がある。あと少し歩かねば。



1874年初灯。31.2m。日本に5つしかない最大の第1等レンズを使用した第1等灯台。



地球の丸く見える丘展望台。愛宕山+展望台で海拔約90mの屋上から四方を見渡せる。眺めは雄大で水平線の両端は丸みを帯びて見えるので地球の丸さを実感できる。





銚子電鉄犬吠駅。モダンでお洒落。ローカル線の駅には見えない。



ひまわり畑の中を2両電車はやって来た。車両は元京王電鉄5000系。懐かしい。



かわゆい車掌さんにおじさんもにっこり。旅の締めくくり、ありがとう。

6. グルメ情報（全て銚子名物）

【おやつ部】



ヤマサ醤油工場で醤油ソフトクリームを食べる。なんと、ナイスマッチング。これは美味しい！



老舗のお煎餅屋さんで濡れせんべい七味味を食べる。柔らかか食感と濃醤油味が絶妙。

【昼飯の部】



ウオッセ21内の海鮮食堂。店で最高額の海鮮丼(¥1700)を食べる。30種類の新鮮な魚介類と酢飯が最高！こんな美味しい海鮮丼食べた事ない。海藻類の味噌汁もたまらん。お客で超混んでいるのにお店の方々の対応はやさしく丁寧。心も体も頭も元気をもらった。



【反省会の部】



反省会は特急しおさい82号の中で。プレモル2種類とファミチキ(から揚げ)。後ろの特大ひもの2つは家で焼いて貰おう。(含む家内のお土産) 特急しおさい82号発車と同時に乾杯～イ。今日もご苦労さん。特に反省することは無いが、いつも反省会は楽しいな。

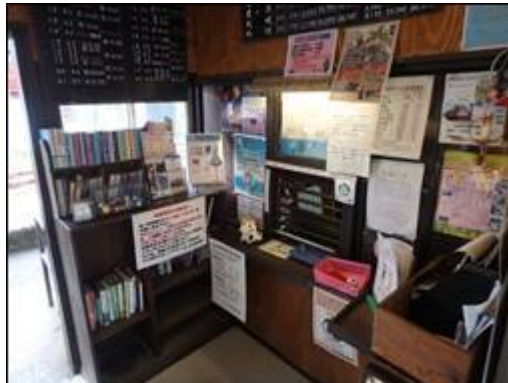
7. まとめ

銚子、期待した以上に良きところであった。

昔懐かしい地方の街。海、漁港、醤油工場、ローカル鉄道。



銚子電鉄仲ノ町駅。超ローカルな田舎の駅。懐かしい何かを感じる。



仲ノ町駅の中。切符売場、時刻表などがある。本棚に日本沈没、青春の門、天北原野等々の故郷・下町の駄菓子屋を思い出してしまった。



本棚に日本沈没、青春の門、天北原野等々。学生時代熱き思いで読んだ自分がここにある。

今回の旅で、特に感じたのが旅愁。

すなわち、旅先で感じるわびしい思い。旅のうれしい。

仲ノ町駅には昔の自分がいた。

銚子、是非一度は訪れたい街だと思う。

小生の心・体・頭を全て満たしてくれた。

一生、旅を続けようと決心。

銚子に感謝。

最後に、皆さんにどうしても紹介したい詩(うた)がある。

小生が学生時代に旅に出るきっかけを作ってくれた詩(うた)である。

“遠くに行きたい” 作詞:永 六輔、作曲:中村八大

知らない町を 歩いてみたい

どこか遠くへ 行きたい

知らない海を 眺めていたい

どこか遠くへ行きたい

遠い街 遠い海

夢はるか 一人旅

愛する人とめぐり逢いたい
どこか遠くへ 行きたい

愛し合い 信じ合い
いつの日か 幸せを

愛する人とめぐり逢いたい
どこか遠くへ 行きたい